monthly report
No. 26
2021.8.2

市民と共に、この国を動かす
～いのちと暮らしを守る政治を～

立憲民主党大阪府第11区総支部長
衆議院議員

平野博文

コロナ禍による危機を克服し、当たり前の日常を一日も早く取り戻すため、政権交代をめざす！

東京オリンピック・パラリンピックのために世界中から集まったアスリートたちに多くの感動をいただいています。一方で、第5波はこれまでにない感染拡大局面を迎え、大阪府でも緊急事態宣言となりました。政府に対しては引き続き、命と健康を守る対策を強く求めてまいります。

コロナ禍が発生して1年半、国の後手後手の対策によって、多くの国民の命が失われ、社会経済も大きな痛みを被りました。

**（2021年の経済回復見通し / 世界6.0%、日本3.3%
IMF世界経済見通し・2021年4月）**

ワクチン接種も大きく遅れをとり、欧米が社会経済の再開に動く中で日本は一人負けの状態です。菅総理が公約した今年前半の全国民のワクチン確保はいつのまにか反古にされ、先日も、職域接種や大規模接種の募集がストップされるなど、混乱が続いています。

立憲民主党は、ワクチン接種の促進に全力で取り組むとともに、一定感染が収束するまでの間は、医療や検査体制の抜本的拡充と、暮らしと事業を守る補償の充実を強く求めてきました。そして、政府対応を求めるだけでなく、積極的に対案を提出しています。全世帯への10万円給付をはじめとし、

七月二一日　党全国幹事長・選対責任者会議

生活困窮者や子育て世帯への再給付、持続化給付金の再給付、休業支援金の拡大や延長など、暮らしを足元から支える議員立法を提出しつつ、政府に実現を求めてきました。

政府が迷走を続ける医療・ワクチン対策についても、検査拡充・病床確保・医療従事者支援法案、ワクチン接種円滑化法案など、抜本的な対策を法案化し、国会での議論を求めてきました。（立憲民主党が、国民の皆さまの声と叡智をあつめ、国会に提出したコロナ関連の議員立法は、昨年の秋からだけでも19本にのぼります。）

しかし、政府与党は、これら議員立法の大半をたなざらしにし、失敗を繰り返しています。

コロナ禍による危機を克服し、「当たり前の日常」を一日も早く取り戻すためには政治を変えなければなりません。

平野博文総支部長は、暮らしや事業のお困り事に寄り添い、いのちと暮らしを守る政治の実現に向け、全力を尽くします。

平野博文衆議院議員とともに、今後も暮らしの現場からの声に耳を傾けつつ、市民の健康と安全を守り、子どもたちの明るい未来を築くため全力を尽くします。

大阪府議会議員
山田　けんた

↓↓平野博文のSNSサイトです。是非ご覧下さい。↓↓

立憲民主党大阪府第11区総支部
〒573-0027　枚方市大垣内町2丁目7-16 小北ビル2階
電話（072）841-2501 FAX（072）844-6502
メール hhirano@hi-ho.ne.jp
平野博文
URL http://hhirano.jp

市民と共に、この国を動かす。
～いのちと暮らしを守る政治を

第十一区総支部長
衆議院議員
平野博文

命と健康を守る～公的責任で医療・保健分野の充実を

大阪市役所に市民から集められた大量の雨合羽、府知事が「このコロナにある意味、打ち勝てるんではないかとすら思っている。」と発言して店頭から消えたイソジンうがい薬、すでに新たな変異株が確認されていたにもかかわらず期限前倒しで行った緊急事態宣言解除申請など、大阪府民は、維新の会の知事や大阪市長の思いつきとパフォーマンスに振り回されてきました。

大阪府でコロナで亡くなった方は 2,721 人に上り、東京の 2,288 人をはるかに上回り全国最悪であることは厳然たる事実です。（7/29 現在）今春の第4波では、保健所が人員不足から機能不全に陥り、医療救急体制が崩壊状態になりました。自宅や宿泊施設で療養中に重症化しても入院できない感染者は膨大な数に上り、多くの命が失われました。

このように大阪府が全国で最もひどいコロナ禍状況になったことと、この間「二重行政」「行政のスリム化」の名のもとに進められてきた公的な医療機関や衛生研究所の統廃合、保健所機能の縮小は決して無縁ではありません。行政のしくみを変えることに狂奔し、そのことには多額の税金を費やす一方で、命と健康に対してカネを惜しむような政策が推進されてきたのです。

多くの府民が大阪の医療・保健の現状に不安感を抱いていますが、人材育成や機能する体制づくりなど、一度壊してしまったものを作り直すには長い年月がかかります。当面はコロナ禍による危機を克服するため、病床確保をはじめ医療崩壊を防ぐ施策推進に全力を尽くすとともに、中・長期的には、改めて住民の命と健康を守ることこそが行政の最大の使命であることをふまえ、公的責任による医療・保健の充実に取り組みます。

あなたの声を国政へ届けます

政治へのご意見・ご要望、コロナ禍に関するお困り事、お悩み事など、抱え込まずご相談下さい。下記電話・ファックス・メールからご連絡下さい。

電話　072-841-2501　ﾌｧｯｸｽ 072-844-6502　ﾒｰﾙ hhirano@hi-ho.ne.jp

ポスター掲示にご協力をお願いします

事務所スタッフがお伺いし、掲出作業いたします。

【お問合せ】平野博文事務所
072-841-2501

立憲民主党 立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル 3F
Tel.03-6811-2301
Fax.03-6811-2302

2021.8　号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU